



市立岸和田市民病院だより

うらら

2013年
創刊号

【発行】
市立岸和田市民病院
広報委員会

泉州地域唯一の国指定 “地域がん診療連携拠点病院” です



【目次】

- P.2… 創刊号に寄せて(院長挨拶)
- P.3… 地域に愛され信頼される病院を目指して
- P.4… 泉州地域唯一の国指定“地域がん診療連携拠点病院”です
- P.6… 市立岸和田市民病院のご紹介
- P.8… 診察予定表

～基本理念～

- ・市民の皆さんが安心して心のこもった良質な医療を受けられる病院をめざします。
- ・患者さん一人ひとりの権利と安全を確保し、絶えず向上心をもって皆さんに信頼されるよう努めます。

～基本方針～

- ・市民の皆さんが安心して良質な医療を受けられるように高度・専門医療と救急医療を充実する。
- ・患者さんが医療の中心であることを忘れず、個人の知る権利と決定する権利を尊重する。
- ・患者さんと職員の安全を確保する。
- ・地域の中核病院として地域医療連携を推進する。
- ・職員の教育・研修を充実し、絶えず向上心を持って努力する。



温かい心をもって、
良質で高度な
医療を提供します。

Masafumi Kogire



市立岸和田市民病院 院長 小切 匡史

広報誌 うらら

「うらら」は、空が晴れて日が柔らかくのどかに照っている様子を示しています。春うらら・麗か（うららか）など、とても素敵な響きをもつ言葉です。

泉州地方では、わたし達・おれ達という意味で、「うらら」や「おらら」が使われていました。いつまでも、わたし達・おれ達に愛される市民病院でありたいとの願いをこめて、「うらら」と名付けました。



岸和田市民病院
ロゴマーク

このマークは岸和田市の頭文字「K」と「若葉」をモチーフに大空に飛び立つ鳥をイメージしています。「若葉」には若々しさや、健康、信頼関係。そして質の高い医療を温かい心で市民のみなさまに提供する心を表現しています。また飛び立つ「鳥」には地域医療の中核病院として、地域とともに発展していく姿を表現しています。

山崎豊子原作の『白い巨塔』というテレビドラマがありました。年輩の方は田宮二郎が、もう少し若い方は唐沢寿明が、主役の財前五郎を演じていたのを覚えているのではないのでしょうか。『白い巨塔』の舞台は大学病院でしたが、大学病院でなくとも、病院というのは、普段は近寄りがたい、中で何が起きているのか今一つ分からない場所だと感じていらっしゃる人が多いと思います。

でも、そこでは、普通の人々が、医師として、看護師として、技師として、あるいはその他のスタッフとして毎日働いています。

私たち病院職員が、どんな夢を持って、誇りを持って、悩みを持って、仕事をしているのか、岸和田市、泉州地域の皆さんに少しでもわかっていただけたら、そして、住民の皆さんのお役にたつ医療情報を提供できたら、という思いで、この広報誌を創刊いたしました。

医療は、患者さん、家族、そして病院職員が一つのチームとなって病気に立ち向かっていかなければうまくいきません。

この広報誌が、地域と病院との間の見えない壁を取り払い、よりよいチームワークの形成に役立つことを期待しております。

～地域に愛され、信頼される病院をめざして～



七夕やクリスマスの時期などに、外来1階のエントランスホールでピアノ演奏や歌などのコンサートを開催しています。地域の方々にはボランティアで演奏(歌)をご披露いただくなど、地域の皆さんに支えられながら地域医療を推進しています。

七夕ロビーコンサート

7月5日(金)午後6時40から、七夕ロビーコンサートを開催しました。約150名の皆さんがピアノ演奏と歌に聞き入っていました。



地域の皆さんと共に

外来棟から病棟への廊下（ホスピタルストリート）に、市内の保育所(園)や幼稚園等の皆さんの作品を掲示いただいています。毎月、工夫を凝らした作品が掲示され、来院された方々の目を楽しませてくれています。

いざという時に備えて

当院では「大規模災害訓練」を行っています。いざという時に冷静に対応するためには、日ごろの訓練が重要です。今年も10月に行う予定です。



当院は、地域がん診療連携拠点病院として、
地域連携の推進と質の高いがん医療の提供に取り組んでいます



市立岸和田市民病院は泉州地域のがん診療連携拠点病院です。意外かもしれませんが、大阪府のがん死亡率は全国ワースト6位です。

がん死亡率を低下させるためには、がんの予防、早期発見、がん治療の均てん化（どこでも最良のがん治療が受けられること）が大切です。そのために、地域の他の病院と協力しながら、がんを皆さんにもっとよく知っていただくよう講演会を開いたり、がん検診をより多くの方に受けていただけるような活動を行ったりしています。市民病院では、消化器がん（胃がん、大腸がん、肝がん、膵がんなど）、肺がん、乳癌、前立腺がんなどの治療を通じて、がんで亡くなる患者さんをひとりでも少なくするよう努力しています。外科では、早期癌に対しては腹腔鏡手術など患者さんの負担が少ないからだにやさしい手術を行う一方で、進行癌に対しては抗腫瘍治療や放射線治療を組み合わせることでこれまで治らなかった症例も積極的に手術を行っています。がんは怖い病気ですが、がんをよく知ることはとても大切です。がんの悩みやご心配なことがあればいつでもご相談ください。

**第4回
泉州がん拠点病院 合同講演会**

“緩和ケア”に対する正しい知識をお持ちいただくため、緩和ケア内科医師、在宅医がお話します。ぜひご参加ください。

日 時：11月16日(土)
10時～12時
場 所：市民病院3階 講堂

昨年7月、緩和ケア病棟を開設しました

緩和ケア病棟では、患者さんとご家族の心身の苦痛を和らげ、その人らしく穏やかに過ごせるようスタッフ全員が取り組んでいます。

緩和ケアは、看取りや終末期からのものと連想される方も多いと思いますが、がんと診断された時から開始が大切です。緩和ケアは、がんの告知によるショック、不安や気分の落ち込みなどのこころの“つらさ”、抗がん剤治療の副作用による吐き気、食欲低下やがんによる痛みの身体の“つらさ”などを和らげ、がんと向き合う患者さんを支え、自分らしい生活を送ることができるようにするための医療です。

緩和ケアを受けるメリットとして
◇がんと診断された時から緩和ケアが開始されることによって治療中の“つらさ”が緩和され、がん治療そのものに取り組む意欲がます

◇患者さんや家族の不安や気持の落ち込みなど、こころの“つらさ”が和らぎ、がんの検査・治療を自身で選択できるようになる

◇がんと診断されたことでおくる就労などの社会的問題をスタッフと一緒に考え、解決策を探すことができるなどがあります。痛みやつらさを感じたら、主治医や看護師などの医療スタッフにお伝えください。主治医にはつい遠慮してご自分のつらさや痛みを伝えない患者さんを見かけますが、伝えなければ治療は始まりません。恥ずかしがらずに勇気をもってお伝えください。



緩和ケア病棟談話室

“からだにやさしい”放射線治療を行っています

手術、抗がん剤治療とならび、がん治療の三本柱の一つである放射線治療は、病巣に放射線を照射してがん細胞を死滅させ、腫瘍（しこり）を小さくすることを狙った局所療法です。

早期の頭頸部がんや前立腺がんなどでは、臓器の機能、形態を温存しつつ治療可能であり、がんが全身に広がって治療が困難な状況でも、痛みなどのがんに伴う局所症状を緩和できます。近年、正常臓器への被ばくをより少なく、それでいて病巣に確実に照射する、いわゆる高精度照射技術が進歩したことにより、副作用が少なく、「からだにやさしい」治療が可能になりました。

当院では2012年に高精度治療対応の放射線治療装置を導入、治療開始しました。例えば、前立腺がんに対しては、治療直前にCT撮影を行い前立腺の位置に合わせて放射線照射する画像誘導放射線治療を実施しています。

また、小型の脳腫瘍に対しては、誤差1mm以内の精度で高線量の放射線を集中して照射し高い効果が得られる定位放射線治療を大きな苦痛を伴うことなく実施しています。さらに、この技術を体幹部に応用した、早期肺がんに対する定位放射線治療を2012年12月より開始しました。



放射線治療装置

がん検診のご案内

当院では以下の検診を行っています。がんの早期発見のためにぜひご利用ください。

PETがん検診

市民病院では、PET-CT装置と血液検査（腫瘍マーカー）により、がん検診を行っています。

PET検査はがんの検出に優れていますが、どの部位にがんがあるのかという正確な位置情報を得ることができません。そのため、CTやMRIと比較して、正確な診断を行います。PET-CT装置は、PETとCTを同時に撮ることができる高度な画像診断機器です。また、PETでは分かりにくいがんが、CTで見つかることもあります。

一方、血液中の腫瘍マーカーの測定により、がんが検出されることがあります。PETがん検診では、CEA（がん全般）、αFP（肝細胞がんなど）、CA19-9（膵臓がんなど）、シフラ（肺がんの一種）、PSA（前立腺がん：男性）、CA125（卵巣がんなど：女性）の5種類の腫瘍マーカーを測定しています。

これらの結果は、後日、医師が直接説明します（郵送も可）。

申し込み：外来受付1番カウンター
(平日午前9時～午後5時)で行っています。

費用：98,700円(申し込み時に必要)
詳しくは、市民病院ホームページ（患者様へ→検診のご案内）や病院設置のパンフレットをご覧ください。



乳腺ドック

過去、日本人女性は欧米人女性と比べて乳がんになりにくいのが常識でした。しかし、最近の食生活や社会生活の欧米化により、日本人乳がん患者は確実に増えてきています。1990年では日本人女性が生涯を通じて乳がんになる確率は30人に1人でした。それが2007年になると15人に1人にまで増え、今や乳がんは日本人女性が最もかかりやすいがんであり、今後ますます増加することが予想されています。

その一方で、乳がん死亡率は大腸、肺、胃、すい臓に次いで5位にとどまっており、乳がんは他のがんと比べて治りやすい病気といえます。大きさが2cm以下でリンパ節転移のない早期乳がんであれば、90%以上の方が治癒します。早期発見できれば、乳がんは決して怖い病気ではありません。乳がん早期発見には検診が重要です。

世界中で行われた検診の成績を調べてみると、検診を受けることで乳がん死亡を15～20%減らすことが証明されています。そこで当院では、本年度より乳腺ドックを開始しています。この乳腺ドックではマンモグラフィ検査と超音波検査を受けていただきます。担当医はマンモグラフィ試験と超音波試験いずれもA認定の乳腺専門医です。市町村が実施する集団検診ではありませんので、費用は全額自己負担となります。ただし、乳腺専門医が診断し即時に結果がわかる、精密検査が必要な場合にはその場で診察予約できるというメリットがあります。

ご希望の方はお問い合わせください。

実施日：毎月第1土曜日
費用：11,000円
申込・問合先：地域医療センター

病院概要

- 病床数：400床
- 医師：約100名
- 看護師：約400名
- 医療技術者：約100名
- ◇日本医療機能評価機構認定病院
- ◇地域がん診療連携拠点病院（国指定）
- ◇地域医療支援病院
- ◇臨床研修病院
- ◇看護職員の配置7：1



(平成25年7月15日現在)

診療科目 (31診療科)

内科、消化器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、血液内科、腫瘍内科、神経内科、呼吸器内科、呼吸器外科、外科・消化器外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、乳腺外科、小児科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、歯科口腔外科、精神科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線科、救急・集中治療科、腎臓内科、病理診断科、放射線治療科、緩和ケア内科

診療時間

診察時間 9：00～終了
 受付時間 予約のない方 8：00～11：00 / 予約のある方 8：30～
 休診日 土曜・日曜・祝日

[各診療スケジュールについてはP8の診察表をご覧ください。]

フロア紹介

6階	西病棟	東病棟
5階	西病棟	東病棟
4階	西病棟	東病棟
3階	中央手術室 集中治療室	西病棟 東病棟
2階	外来診察室（C・D・E・Fブロック）、 採血・採尿・心電図受付、生理検査・ エコー・内視鏡受付、化学療法センター、 中央点滴室など	
1階	総合案内、外来診察室（A・Bブロック）、地域医療センター、透析センター、 救急センター、画像診断センター、放射線治療室、リハビリテーション室、 処方せん窓口、会計、入院受付、総合相談、食堂、売店、患者図書室、ATMなど	



1階：エンドラウンジ



1階：リハビリテーション室



2階：中央検査室



3階：中央手術室

病院沿革

- 昭和11年11月 春木町、山直町、南掃守村、八木村、土生郷村の2町3村で病院を建設。
- 昭和16年3月 岸和田市ほか3ヶ町村の組合病院として「公立大宮病院」の名称で設置。
- 昭和17年4月 岸和田市ほか3ヶ町村合併により岸和田市立病院と改称。
- 昭和36年8月 「市立岸和田市民病院」と名称を変更。
- 昭和36年10月 病院本館新設。
- 平成2年1月 救急告示医療機関指定。
- 平成5年4月 臨床研修病院指定。
- 平成8年5月 新病院開院。
- 平成14年9月 救急センター、画像診断センター、地域医療センター開設。
- 平成14年12月 地域がん診療連携拠点病院指定（国指定）。
- 平成18年5月 PET-CT稼動。
外来化学療法センター開設。
- 平成19年4月 透析センター開設。
- 平成22年11月 地域医療支援病院指定。
- 平成24年7月 緩和ケア病棟開設。



公立大宮病院



旧市民病院



現在の市民病院

専門外来科目

【予約のみになります。】《午前（診察9:00～）午後（診察13:30～）》（平成25年7月15日現在）

診療科	曜日	診療時間
女性専用外来	水	第1・3・5水曜日14:00、第2・4週15:30
膠原病外来	火・水・金	午後（紹介とかかりつけ患者は予約外可）
肝臓外来	金	午前・午後（地域医療予約患者のみ）
不整脈外来	金	午後
外科 小児外来	木	13:00
ストーマ外来	金	午前・午後
脾臓外来	月	14:00
静脈瘤外来	月・水	月曜日:午後、水曜日:午前
ペースメーカー外来	第2・4金	15:00
下肢のむくみ外来	木	午後
間脳・下垂体専門外来	月	13:00
リウマチ外来	木	午前
褥瘡外来	木	午後
再建外来	水、第2・4金	水曜日:午後、金曜日:午前
頭蓋顔面外来	水	午後
フットケア外来	木	午前
小児科 アレルギー外来	火・木	火曜日13:30、木曜日13:00
小児科 慢性疾患外来	月・水・金	15:30
小児科 心臓外来	木	午後
小児科 予防接種外来	火	午後
小児科 神経外来	月	午後
ペインクリニック外来	金	午前10:00、午後
尿失禁外来	火	15:00
禁煙外来	水	午後
頸関節外来	木	午後

※変更になる場合がありますのでお問い合わせください。

診療予定表

※変更になる場合がありますのでお問い合わせください。

(平成25年7月15日現在)

診療時間 午前(受付/ 8:00~11:00 診察/ 9:00~)
午後(受付/12:30~14:30 診察/13:30~)

● 診療あり △再診予約のみ

受付	診療科		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
A	整形外科	午前	●	●	△	●	●(第2週は休診)	
		午後	△	△	△	△	△(第2週は休診)	
	消化器内科	午前	●	●	●	●	●	
		午後	△	△	△	△	△	
	総合内科	午前	●	●		●	●	
		午後	△	△		△	△	
	脳神経外科	午前	●	●	●	●	●	
		午後	△	△	△	△	△	
	B	代謝・内分泌内科	午前	●	●	●(9:30~)	●	●
			午後	△	△	△	△	△
血液内科		午前					△	
		午後		●		●	●	
循環器内科		午前	●	●	●	●	●	
		午後	△	△	△	△	△	
眼科		午前	●	△	●	●(2・4週は完全予約制)	●	
		午後	△		△			
心臓血管外科		午前	●		●		●	
		午後			△		△	
放射線治療科	午前	(完全予約制)	(完全予約制)	(完全予約制)	(完全予約制)	(完全予約制)		
	午後	(完全予約制)	(完全予約制)	(完全予約制)	(完全予約制)	(完全予約制)		
	リハビリテーション科	午前	●					
C	形成外科	午前	●			△	△	
		午後	●	●(13:30~)	●	●		
	耳鼻咽喉科	午前	●	●	●	●	●	
		午後	△	△	△	△	△	
	泌尿器科	午前	●	●	●(10:00~)	●	●	
		午後	△	△		△		
	腎臓内科	午前		●(1・3・5週9:30~)			△(11:00~12:00)	
		午後				△(2・4週14:30~16:00)	●(13:00~16:00)	
	皮膚科	午前	●	●	●	●	●	
		午後	△	△	△	△	△	
精神科	午前	●				●		
D	小児科	午前	●	●	●	●	●	
	婦人科	午前	●	●	●	●	●	
		午後						
神経内科	午前	△(9:00~15:00)		△(9:00~15:00)				
E	呼吸器科	午前	●	●	●	●	●	
		午後	△	△	△	△	△	
歯科口腔外科	午前		●	●	●	●		
	午後		△	△	△	△		
F	乳腺外科	午前	●	●(最終週は休診)	●	●	●	
		午後		△(最終週は休診)	△	△	△	
	腫瘍内科	午前	(完全予約制)	(完全予約制)		(完全予約制)	(完全予約制)	
		午後	(完全予約制)	(完全予約制)		(完全予約制)	(完全予約制)	
緩和ケア内科	午後		(完全予約制)					



広報誌「うらら」の創刊号は、本院の紹介を中心にお届け致しました。4月以降、試行錯誤を繰り返し、ようやく発刊に至りました。とかく、医療用語を使うと紹介も難しくなりがちですが、できるだけわかりやすく情報をお届けできるよう努めていきたいと思っております。今後とも、ぜひご愛読くださいますようお願い申し上げます。

(広報委員一同)



市立岸和田市民病院

〒596-8501 岸和田市額原町1001番地
TEL.072-445-1000 FAX.072-441-8812
URL <http://www.kishiwada-hospital.com/>